

Adobe Digital Learning Services

スキルを身につけて、デジタル変革を一步先へ

Xd

XD実践コース開催

定員：12名

Adobe XDは、機能が少なく習得の難易度も低いツールですが「自分の仕事に合わせてカスタマイズ」していかなければ作業を効率化していくことはできません。また、毎月アップデートが実施される進化の速いツールのため現機能の特性や問題点を把握しなければ、新機能の恩恵を十分に得られません。

この実践コースは、今まで(30社以上の)企業で実施してきたXD講習から得られた知見やノウハウをベースに構成した実践的なカリキュラムになっています。

対象者：

- ・XDを使っているが、うまく使いこなせていない方
- ・XDについて深く学習されたい方
- ・業務にXDを取り入れるために、XDの社内研修や社内勉強会などを企画している方
- ・本格的にXDを導入する目的で計画を進めている方

トレーニングで得られること

- ・Webサイトやアプリのプロトタイプを作成する手順やワークフローを把握できます。
- ・プロトタイプを素早くつくるための最新テクニックを習得できます。
- ・チームで作業するときに必要なアセットの共有や共同編集を実践できるようになります。
- ・進化の速いXDを無理なくキャッチアップしていく方法を学べます。

主要アジェンダ

XDの特徴とUXデザイン概論

- ① XDの基本機能を総点検する
アセットパネルの一元管理機能/XDの非破壊編集の特性/コンポーネント/リポートグリッド/レスポンスサイズ変更/自動アニメーションなど
- ② XDを作業内容に合わせてカスタマイズする
・プラグイン/UIキット/他サービスとの連携
- ③ XDのトラブルシューティング
・バグ対応/Adobe Fonts/プロトタイプ公開/クラウドドキュメントなど
- ④ XDの最新情報を得る
- ⑤ プロジェクト学習[実習]

プロトタイプ制作演習

- ・Webサイトのプロトタイプを作成する流れ
- ・アプリのプロトタイプを作成する流れ
- ・プロトタイプの忠実度レベルの決め方
- ・ワイヤーフレームを素早く作成するためのテクニック
- ・アセットに登録する要素の決め方
- ・コンポーネントに変換すべき要素の選び方
- ・XDでフローチャートを作成する方法
- ・速く作るためのプロトタイピングのテクニック
- ・チームでプロトタイプを共有するときの注意点



担当トレーナー：境祐司Yuuji Sakai

Adobeシニアコーポレートトレーナー

Instructional Designerとして教育設計、IDマネジメントなどを中心に活動。

2012年：パブリッシャーとしてebookのプランニング、情報設計、デリバリデザイン等を手掛ける

2014年：Creative Edge School Booksを立ち上げ、主にクリエイティブ系のLearningコンテンツを企画・制作・販売。2016年よりAIシステムやロボティクス関連のプロジェクトに参加、ニューラルネットワークを使ったスタイル置換処理を中心にクリエイティブに実践導入。2017年より、Adobe Community Evangelistとして、AI (Adobe Sensei) やAdobe XD関連のイベント登壇、講演などを実施。現在、エンタープライズ対象にXDを活用するデザインシステム演習を実施中。

Twitter: <https://twitter.com/commonstyle>

Web: <http://design-zero.tv/>

Adobe Community Evangelist: <https://adobe.ly/2YlF4WT>



申込& 問合せ先：adlsjapa@adobe.com